

5.24 緊急抗議行動

盗聴、監視は絶対反対

岐阜新婦人・9条の会緊急行動

新婦人岐阜支部と岐阜・九条の会は24日夕、名鉄岐阜駅前で「共謀罪」強行に抗議し、「絶対廃案」と声を上げました。緊急の呼びかけにもかかわらず、50人を超える市民が駆けつけました。

新婦人の宇留野理恵

事務局長、岐阜・九条の会の吉田千秋代表らが交代でマイクを持ち、「『共謀罪』法案は、善良な市民が『安倍さんおかしいよ』と声を上げると監視の対象になる法律で、テロ対策でも何でもない。みんなで力を合わせて廃案に追い込もう」と力を込めました。

新婦人が呼びかけた

シール投票では、「共謀罪」がどういうものなのかよくわからないという高校生が多く、女子高生に「戦争反対と言っただけで拷問、虐殺された治安維持法と同じ法律だよ。ラインや電話でも盗聴されちゃうよ」と説明すると「怖いですね。反対します」と「共謀罪」反対にシールを貼りました。

参加者は一斉に「盗聴、密告、監視の法案、共謀罪絶対廃案」とコールしました。